

地球温暖化対策報告書(その1)

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称 及び代表者の氏名)	学校法人 桜美林学園 理事長 大槻 達也				
事業者番号	A	3	2	8	0

2 報告する事業所等の全体の状況(2023年度の状況)

条例第8条の23第1項 報告事業所数	0	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0	kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	10	事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	2,788	kl

3 報告する全事業所における合計二酸化炭素排出量の状況

合計二酸化炭素排出量	5,397	t
------------	-------	---

4 評価の対象とする事業所等の範囲

評価対象事業所等	☐ 義務提出事業所等	☒ 全事業所
----------	-----------------------------------	--

5 評価対象事業所等における直近5か年度の状況

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
合計二酸化炭素排出量	5,812.00	4,636.00	5,450.00	6,547.00	5,397.00	t
合計延床面積	155,972.81	155,160.47	157,988.32	170,692.33	154,398.70	m ²
合計原単位	37.26290	29.87874	34.49622	38.35556	34.95495	kg-CO ₂ /m ²

平均合計二酸化炭素 排出量削減率	1.83	%
平均合計原単位改善 率	1.58	%

6 再生可能エネルギーの利用事業所数及び割合

再生可能エネルギー 利用事業所数	3	事業所
再生可能エネルギー 利用事業所率	30	%

7 評価結果

地球温暖化対策の 取組に係る評価	S★	ランク
---------------------	----	-----

(裏)

8 実績年度の目標達成の状況

実績年度の 目標達成の状況	☐	目標達成した。
------------------	--------------------------	---------

9 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無
合計二酸化炭素排出量削減率		%
合計原単位改善率		%
再生可能エネルギー導入事業所率		%
その他の	特記事項に内容を記載	

10 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1
----------	---

11 事業者としての取組

取組方針	基本方針として下記を重視して、地球温暖化対策に取り組む①普及啓蒙（省エネ意識の向上） 学生・教職員に省エネルギーに対する意識の向上および取り組みの協力を呼びかけ、地球温暖化対策の推進に取り組んでいく。②再生可能エネルギーの利用 既に導入済みの太陽光発電システムについて、積極的な運用により再生可能エネルギーの利用を推進する。			
組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A107	排出状況の整理・分析・提供
	A102	温暖化対策推進担当の配置	A113	推進担当者の知識向上・内部還元
	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供		

12 特記事項

--

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	町田キャンパス 東ゾーン										
事業所番号	A	3	2	8	0	—	0	0	0	2	
事業所等の所在地	〒	1	9	4	—	0	0	3	5	区市町村名	町田市
	町名番地下	忠生4丁目14番地7									
事業所等の延床面積	39,986.37		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☒ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	927	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	1,790	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	6	t
	総計(④=②+③)	④	1,796	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	44.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)× ⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	232,284.2	45.00	10,452.8	0.0136	521.2
	その他 (LPG)		☐	kg	38.0	50.80	1.9	0.0161	0.1
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 (A重油)		☐	L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	2,060,245.0	9.97	20,540.6	0.4890	1,007.5
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	534,544.0	9.28	4,960.6	0.4890	261.4
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	^⑪ 0.0	9.76	^⑪ 0.0	0.4890
合 計							^⑭ 35,955.9		^⑮ 1,790.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	6,753.0			0.2660	1.8
	公共下水道		☐	m ³	10,572.0			0.4000	4.2
合 計									^⑮ 6.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運 用 対 策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				C110	余熱利用による早めの空調停止
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB10	余熱利用による早めの空調停止
				CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E130	全熱交換器の導入
				E139	進相コンデンサ等による力率改善
				E140	BEMSの導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	町田キャンパス 西ゾーン										
事業所番号	A	3	2	8	0	—	0	0	0	3	
事業所等の所在地	〒	1	9	4	—	0	2	1	3	区市町村名	町田市
	町名番地下	常盤町字25号3628番地1									
事業所等の延床面積	16,313.71			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	392	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	769	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	770	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	47.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) (8)=(6)/1000× ⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	38,153.9	45.00	1,716.9	0.0136	85.6
	その他 (LPG)		☐	kg	4.0	50.80	0.2	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 (A重油)		☐	L	10,400.0	39.10	406.6	0.0189	28.2
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	949,330.0	9.97	9,464.8	0.4890	464.2
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	391,472.0	9.28	3,632.9	0.4890	191.4
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	^⑪ 0.0	9.76	^⑪ 0.0	0.4890
合 計							^⑭ 15,221.4		^⑮ 769.5
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,702.0			0.2660	0.7
	公共下水道		☐	m ³	3,048.0			0.4000	1.2
合 計									^⑯ 1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネ ー 対策	運 用 対 策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E130	全熱交換器の導入
				E139	進相コンデンサ等による力率改善
				E143	地中熱ヒートポンプの導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	町田キャンパス 一粒・学而ゾーン											
事業所番号	A	3	2	8	0	—	0	0	0	4		
事業所等の所在地	〒	1	9	4	—	0	0	3	5	区市町村名	町田市	
	町名番地下	忠生4丁目13番地6										
事業所等の延床面積	9,536.47			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	162	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	312	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	313	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	32.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) (8)=(6/1000)× ⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※ ¹ (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	16,146.0	45.00	726.6	0.0136	36.2
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	455,170.0	9.97	4,538.0	0.4890	222.6
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	110,377.0	9.28	1,024.3	0.4890	54.0
		その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	^⑪ 0.0	9.76	^⑪ 0.0	0.4890
合 計							^⑭ 6,288.9		^⑮ 312.8
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,227.0			0.2660	0.6
	公共下水道		☐	m ³	2,227.0			0.4000	0.9
合 計									^⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運 用 対 策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E130	全熱交換器の導入
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	町田キャンパス 徳望ゾーン									
事業所番号	A	3	2	8	0	—	0	0	0	5
事業所等の所在地	〒	1	9	4	—	0	2	1	2	区市町村名 町田市
	町名番地下	小山田町字八幡平3562番地1								
事業所等の延床面積	8,889.77		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	81	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	158	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	159	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	17.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) (8)=(6/1000)× ⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=8×9×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0		
	その他 (LPG)		☐	kg	12.0	50.80	0.6	0.0161	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0		
	その他 (A重油)		☐	L	0.0	39.10	0.0	0.0189	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	250,770.0	9.97	2,500.2	0.4890	122.6		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	72,424.0	9.28	672.1	0.4890	35.4		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	
合 計							⑭	3,172.9		⑮	158.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,742.0				0.2660	0.5	
	公共下水道		☐	m ³	1,742.0				0.4000	0.7	
合 計										⑯	1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネ ー 対策	運 用 対 策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E130	全熱交換器の導入
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	町田キャンパス 上小山田グラウンドゾーン										
事業所番号	A	3	2	8	0	—	0	0	0	6	
事業所等の所在地	〒	1	9	4	—	0	2	0	1	区市町村名	町田市
	町名番地下	上小山田町字二十号2678番地1									
事業所等の延床面積	16,638.18		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	67	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	68	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	4.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) (8)=(6/1000)× ⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量※ ¹ (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	128,352.0	9.97	1,279.7	0.4890	62.8
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	9,160.0	9.28	85.0	0.4890	4.5
		その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値			kWh	¹²⁾ 0.0		¹¹⁾ 0.0		¹³⁾ 0.0
合 計						¹⁴⁾ 1,364.7		¹⁵⁾ 67.2	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	572.0			0.2660	0.2
	公共下水道		☐	m ³	2,173.0			0.4000	0.9
合 計								¹⁶⁾ 1.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運 用 対 策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	町田キャンパス 老実ゾーン									
事業所番号	A	3	2	8	0	—	0	0	0	7
事業所等の所在地	〒	1	9	4	—	0	2	1	3	区市町村名 町田市
	町名番地下	常盤町字26号3656番地3								
事業所等の延床面積	2,626.11		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)									
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店	☐ 加盟店	☒ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	27	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	53	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	53	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	20.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)× ⑦	二酸化炭素排出量		
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0	
	その他 (LPG)	☐	kg	50.0	50.80	2.5	0.0161	0.1	
	その他 (灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()	☐		0.0					
	その他 ()	☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	84,819.0	9.97	845.6	0.4890	41.5
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	23,849.0	9.28	221.3	0.4890	11.7
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890
合 計						⑭ 1,069.5		⑮ 53.3	
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	339.0			0.2660	0.1	
	公共下水道	☐	m ³	339.0			0.4000	0.1	
合 計								⑯ 0.2	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネ ー 対策	運 用 対 策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E130	全熱交換器の導入
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	町田キャンパス 中高ゾーン									
事業所番号	A	3	2	8	0	—	0	0	0	1
事業所等の所在地	〒	1	9	4	—	0	2	1	3	区市町村名
	町名番地下	常盤町字25号3604番地1								
事業所等の延床面積	18,151.91		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)									
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	4	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☒ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	280	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	541	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	8	t
	総計(④=②+③)	④	549	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	29.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) (8)=(6/1000)× (7)	二酸化炭素排出量		
							排出 係数 (9)	排出量 ^{※1} (t) (10)=(8)×(9)×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	26,192.5	45.00	1,178.7	0.0136	58.8	
	その他 (LPG)	☐	kg	853.0	50.80	43.3	0.0161	2.6	
	その他 (灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()	☐		0.0					
	その他 ()	☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	788,021.0	9.97	7,856.6	0.4890	385.3
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	194,506.0	9.28	1,805.0	0.4890	95.1
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	(12) 0.0	9.76	(11) 0.0	0.4890
合 計						(14) 10,883.6		(15) 541.8	
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	12,698.0			0.2660	3.4	
	公共下水道	☐	m ³	11,674.0			0.4000	4.7	
合 計								(16) 8.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運 用 対 策			C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				CB03	日本工業規格に準じた照度の設定
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E130	全熱交換器の導入
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	多摩アカデミーヒルズ										
事業所番号	A	3	2	8	0	—	0	0	0	8	
事業所等の所在地	〒	2	0	6	—	0	0	3	3	区市町村名	多摩市
	町名番地以下	落合2-31-1									
事業所等の延床面積	7,025.16		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	195	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	378	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	383	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	53.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) (8)=(6/1000)× ⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=8×9×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	53,718.9	45.00	2,417.4	0.0136	120.5
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他 (産業用以外の蒸気)		☐	MJ	0.0	1.36	0.0	0.0600	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	397,467.0	9.97	3,962.7	0.4890	194.4
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	130,705.0	9.28	1,212.9	0.4890	63.9
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	^⑪ 0.0	9.76	^⑪ 0.0	0.4890
合 計							^⑭ 7,593.0		^⑮ 378.8
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	7,029.0			0.2660	1.9
	公共下水道		☐	m ³	7,918.0			0.4000	3.2
合 計									^⑯ 5.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A208	組織横断的な推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネ ー ル ギ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C109	空室・不在時等の空調停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止		
		CB37	4S(整理・整頓等)の実施		
	設備保守対策				
	設備導入対策				
	設備導入対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新宿キャンパス										
事業所番号	A	3	2	8	0	—	0	0	0	9	
事業所等の所在地	〒	1	6	9	—	0	0	7	3	区市町村名	新宿区
	町名番地以下	百人町3丁目23-1									
事業所等の延床面積	16,577.33		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☐ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)
	☐ 工場					☐ 複合施設					☒ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店	☐ 加盟店	☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	376	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	727	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	729	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	43.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)× ⑦	二酸化炭素排出量		
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	113,802.3	45.00	5,121.1	0.0136	255.4	
	その他 (LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0	
	その他 (灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0	
	その他 ()	☐		0.0					
	その他 ()	☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	753,058.0	9.97	7,508.0	0.4890	368.2
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	213,340.0	9.28	1,979.8	0.4890	104.3
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	^⑫ 0.0	^⑬ 9.76	^⑭ 0.0	^⑮ 0.4890
合 計						^⑭ 14,608.9		^⑮ 727.9	
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,526.0			0.2660	0.9	
	公共下水道	☐	m ³	3,526.0			0.4000	1.4	
合 計								^⑯ 2.3	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネ エネルギー 対策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	CB47	契約電力の変更の検討
		CB37	4S(整理・整頓等)の実施	CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策				
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ひなたやまキャンパス									
事業所番号	A	3	2	8	0	—	0	0	1	0
事業所等の所在地	〒	1	9	4	—	0	0	3	2	区市町村名 町田市
	町名番地以下	本町田2600-4								
事業所等の延床面積	18,653.69		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☐ 証書による環境価値の利用									
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	313	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	602	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	605	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	32.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) (8)=(6/1000)× ⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	3,666.5	45.00	165.0	0.0136	8.2			
	その他 (LPG)		☐	kg	4.0	50.80	0.2	0.0161	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	990,826.0	9.97	9,878.5	0.4890	484.5			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	225,086.0	9.28	2,088.8	0.4890	110.1			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.4890	0.0			
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	0.4890	⑬
合 計							⑭	12,132.5		⑮	602.8	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,317.0				0.2660	1.4		
	公共下水道		☐	m ³	5,317.0				0.4000	2.1		
合 計										⑯	3.5	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A207	排出状況の整理・分析・提供
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の 使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネ ー 対 策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		CB21	バックヤードのこまめな消灯	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		CB27	営業前後の客室不要空調の停止	C129	季節に応じた温度設定の見直し
		CB37	4S(整理・整頓等)の実施	CB48	水道メータ等で漏水の有無の点検
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目 標 の 有 無 ☐ 有 ☒ 無						
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当り)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項